

「はばたきクラス」 申合せ事項

- 1 新型コロナウイルス感染予防対策
 - (1) 新型コロナウイルス感染予防の一環として出場時間帯によって、入場者の入れ替えを行う。
 - (2) 競技実施時間帯 午後の部 13:00~16:30 (入館時間 12:00~15:30)
 - (3) 新型コロナウイルス感染予防対策の一環として、待機場所の分散や競技参加時間に合わせたの集合など各団体、個人での対応をとること。
 - (4) 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、競技方法や招集方法等、運営に変更が生じる場合がある。
 - (5) 自身の競技終了後は、速やかに退館すること。
 - (6) 観覧席での応援については、新型コロナウイルス感染予防の一環として禁止とする。
 - (7) 体温が37.5度以上ある場合は、センターに入館できないため、大会事務局まで連絡すること。
 - (8) 会場に入場前に、必ずセンターの入館前検査を通過してから入場すること。
 - (9) 当日は申込み結果に同封されているセルフチェックシートを事前に記載したものを持参し、提出すること。提出がない場合は、大会の出場は認めない。
 - (10) 館内では、選手、介助者ならびに関係者、競技役員は随時マスクを着用し、選手はレース直前までマスクを着用すること。レース前に外すマスクを収納する袋等を持参すること。
- 2 本大会は、2022年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」および本大会申合せ事項を適用する。
- 3 競技順序は「実施種目一覧表」の上から順番に行い、レースは女子から男子、障害区分番号の上から順に行う。
- 4 介助者は泳者がスタート位置についたら泳者から離れ、声かけ、伴泳はしてはならない。
- 5 スタートは1回のみとし、やり直しは行わない。フォルススタートは失格とする。他の選手がフォルススタートを行った場合でも、出発合図員の合図にてスタートすること。
- 6 浮助具使用(区分番号22)では、制限時間(5分)を設けて実施する。その制限時間を超えた場合は、タイムオーバーの失格とする。
- 7 浮助具を使用する選手のゴールタッチは、身体の一部が壁に触れたことにより判定する。
- 8 招集所は体育館内とし、招集は競技開始の15分前開始。5分前終了とする。時間に遅れた場合には棄権とみなし、呼び出しは一切行わないので注意すること。
- 9 競技時間は進行の都合により変更する場合があるので、招集所の表示に注意すること。
- 10 浮助具使用の選手は、自ら持参した浮助具を使用できる。
- 11 プール施設室内温度は31℃、水温31℃とする。